

留学先大学： 西オーストラリア大学  
 留学先での所属学部・研究科： Faculty of Life and Physical Science  
 留学先での在籍身分： Cross Institutional (Exchange) Undergraduate  
 留学期間： 2012 年 2 月～ 2012 年 28 月  
 神戸大学での所属学部・研究科： 理学部  
 学年（出発時）： 3  
 本報告書記入日： H24 年 9 月 28 日

### 授業について

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含 めて教えてください。
1	Rise of Global Economy	Paul Crompton	3	6	1 0 0	論述式の中間・期末テスト、チュートリアルへの参加度を中心に評価されます。チュートリアルでは予めいくつかの問いとそれに関する参考文献が与えられ、授業中はそれらについて少人数でディスカッションを行います。
2	English Language and Academic Communication	Alison Chevin	3	6	4 0	アカデミックで論理的な英文を書く方法や、説得力のあるプレゼンの仕方など実践的なスキルを学びます。他科目と比べてエッセイやプレゼン等の課題が多く出され、評価もこれらの課題を中心に行われます。
3	Molecular Biology	Robert Tuckey	4	6	6 0	中間・期末テストは選択式と論述式から成り、これに加えlab testがあります。labは2人1組で行い、グループごとに院生のTAが付き、手順の説明からlab testの対策までフォローしてくれます。
4	Molecular and Structural Biochemistry	Alice Vrieling	4	6	4 0	論述式の中間・期末テスト、チュートリアルでの発表態度、質問への対応の仕方等を中心に評価されます。チュートリアルでは、毎回与えられた論文について、グループでプレゼンテーションを行います。
5						
6						
7						
8						
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

UWAでは1学期間に4つの授業を登録することができます。私の受けた科目はどれも、クラスのサイズに関わらず、全員で受ける週2～3回の講義と、10人程度の少人数で行うチュートリアル・ワークショップ(またはlab)がセットになっており、1科目あたり週に3～4時間の授業がありました。LMSという大学のサイトで、授業で用いるスライドを前もって見る事ができたり、また授業後には講義を録音した音声を手に入れたりすることができたため、予習や復習に便利でした。成績評価は授業によっても異なりますが、たいいていは中間・期末テストの点数、課題点、チュートリアル・ワークショップでの貢献度等によって評価されます。

### 費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

- ・航空運賃： 12万円(往復)
  - ・住居費： (月額) 12万円 × (留学月数) 5 ヶ月 = 60万円(食費込)
  - ・食費： (月額)            × (留学月数)        ヶ月 =
  - ・保険料： 5万円(+OSHC 1.5万円)
  - ・その他： VISA(健康診断代を含む) 7万円
- 合計： 85.5万円 (留学期間全体の費用)

## その他 自由に記入してください。(800字～)

留学中は、異文化での慣れない生活に苦労することも多々ありましたが、周りの友達や大学の先生方、スタッフの方など多く人の助けを借りながら、これまで日本で経験した事が無いほど1日1日が濃密で、有意義な留学生活を送ることができました。

日本で送る通常の大学生活では、学年が上がるにつれて専門性も高くなり、異なる分野や専攻の友人と関わりあう機会が次第に減っていく中、こうして様々な背景を持つ人たちと大学生活を共にする機会を得ることができ本当に良かったと思っています。

異なる国籍、異なる専攻、異なる年齢、異なる文化、異なる民族、異なる宗教etc…様々なバックグラウンドを持つ友人と日々過ごす中で、自分の教養の無さや自国の文化や社会に関する知識の無さ等に落ち込む事も多々ありましたが、それをきっかけに日本の社会や文化、そして自分自身を改めて客観的に見つめ直す事ができました。また文理の壁にとらわれることなく様々な専門性を身につけ、多様なキャリアパスを描く友人たちを目にする中で、自身の今後のキャリアに対する考えも大きく変化しました。

交換留学に応募することを一時迷った事もありましたが、学部生のこのタイミングで海外に出て、今では本当に良かったと思っています。

留学期間中は楽しいことばかりでなく、思うようにできない自分に苛立ったり、度重なる失敗に落ち込んだりと、辛いこともたくさんありましたが、今振り返ってみると、そのような経験も含め、この度の留学生活で得られた知識や経験全てが、自分にとって何物にも代えがたい財産になったのではないかと考えています。

留学生活は自体は終わってしまいましたが、まだまだここからがスタートであると気持ちを新たに、今回の留学を通じて得られたもの、感じたことすべてを今後にかけて活かして頑張っていきたいと思います。